

## 単元案の概要

単元名:何を食べる?どこで食べる?誰が作る?—日中台の高校生の朝食に関する意識・行動について					
科目名	中国語演習/ グローバル中国語	作成日	2019年9月1日	作成者	柳 素子
学年/年次	2年生	クラス人数	13名(男子1名/女子12名)	使用教材	プリント教材
話題分野	【食】【買い物】	言語レベル	入門レベル/ ネイティブレベル	必要時間数	12コマ程度
単元目標					
日本・中国・台湾の高校生の朝食に関する意識・行動の異同について調べ、学年集会で発表する。					
コミュニケーション能力指標					
<p>話題分野【食】 レベル1～2            1-d 食べたいものや飲みたいものを、メニューの中から探すことができる。            1-1 朝食・昼食・夕食によく食べるものについて、言ったり尋ねたりできる。            2-g 自分の食生活(いつ、どこで、誰と、どんなものを食べるかなど)について、口頭で質問できる。</p> <p>話題分野【買い物】 レベル2～3            2-a お店や売場の場所、買いたいものの有無や値段などを、尋ねることができる。            2-h 支払い場所や支払い方法を尋ねて、代金を支払うことができる。</p>					
学習活動の流れ					
語彙・表現習得活動			学習シナリオ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞述語文、指示代名詞、助数詞、存現文について理解し、表現できるようにする。</li> <li>食べ物に関する名称、買い物の表現、場所を表す表現を用いる。</li> </ul> (この単元で参照する既習事項) 数字の表現 時間の言い方 親族名称 味覚を表す形容詞			<p>&lt;場面状況&gt;本校では、毎年中国や台湾からの修学旅行生と交流を行っています。交流をより充実したものにするため、中国・台湾について調べ、学年集会で発表し、同級生にも二地域への理解を深めてもらいましょう。今回は朝食をテーマとして取り上げます。日本・中国・台湾の高校生の朝食に関する意識・行動には違いがあるのか調べて発表しましょう。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt;            (プレコミュニケーション活動)中国語演習            (コミュニケーション活動)グローバル中国語            ①日本・中国のファーストフード店のHPやメニューの画像を検索し、朝食メニューの共通点や相違点について調べる。(事前調査)            ②ネット上のアンケートフォーム(中国:腾讯问卷,日本、台湾:グーグルフォーム)を作成し、中国と台湾の高校生を対象に朝食に関するアンケートを実施し結果をまとめる。(本調査)            ③クラスを小グループに分け、朝食をテーマにしたプレゼン原稿を作成する。その際、文化習慣の異同に配慮する。            ④学年集会での発表の担当を決め、司会進行、機器操作担当などに分かれて練習をする。            ⑤発表後のリフレクションを行う。</p>		
評価活動					
形成的評価			総括的評価 ※別途ルーブリックを作成してください		
<ul style="list-style-type: none"> <li>筆記テスト(表記の正確さ、表現の適切さ)、</li> <li>暗唱テスト(発音の正確さ)</li> <li>ワークシート</li> </ul> (表記の正確さ、表現の適切さ、気づきなど)			<ul style="list-style-type: none"> <li>学年集会における発表(プレゼンの原稿内容、パフォーマンス)</li> <li>リフレクション(ルーブリック、自由記述)の内容</li> </ul>		